

国際理解教育/開発教育 学習指導 (活動) 案

【実践者】

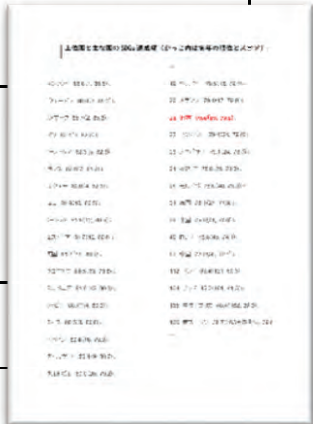
授業者氏名	町田登志子	学校名	千葉県立松戸国際高等学校
教科 (科目)・領域	芸術 (美術 II)	対象学年 (人数)	2年 CDF 組 (20名)
実践年月日もしくは期間 (時数)	5年 11月 ~ 1月 (10 時間)		

【実施概要】

1. 単元名 (活動名) : 座る形 (椅子) のデザイン						
2. 実践する教科・領域 : 美術 II (表現、デザイン)		3. 学習領域				
			1	2	3	4
		A 多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生	
		B グローバル社会	相互依存	情報化		
		C 地球的課題	人権	環境	平和	開発
	D 未来への選択	歴史認識	市民意識	社会参加		
4. 単元の目標 (評価規準を意識して設定) :						
世界の椅子について、人間工学や「座る」歴史を理解したうえで、「SDGs11 住みつけられる町づくり」に繋がる座る形のデザインをする。						
5. 単元 の評価規 準	①知識及び技能	モノづくりと SDGs のかかわりについて理解ができたか。 椅子の文化や公園の成り立ちについて理解ができたか。 1/10 の縮尺図面でアイデアスケッチを作れたか。				
	②思考力、判断力、表現力 等	用途、場所、使用者、目的を明確にしたデザインができているか。 解決したい現代社会の課題を明確にしているか。				
	③学びに向かう力	解決したい現代社会の課題をさまざまな媒体を通して調べられたか。 さまざまな椅子を鑑賞し、デザインの工夫を感じ取ったか。				
6. 単元設 定の理由・単 元の意義 (児童/生徒観、 教材観、指導観)	<p>【単元設定の理由あるいは単元の意義】</p> <p>「椅子」は人に「場所」を提供する。椅子をデザインすることで、その人がその人らしく存在できる機会を作る意識をもたせたい。また、社会にとって必要な空間がデザインできることも公園のベンチの椅子を示し、考えさせたい。デザインを理解することは社会を理解し、デザインを作ることが社会を作ること意識させる。</p> <p>【児童/生徒観】</p> <p>20名のクラスでグループ活動に慣れており、自分の意見を発表することに躊躇しない。また、相手の良さを認める雰囲気がある。課題に対しては作品を最後まで仕上げる真面目な生徒たちである。また、本校はユネスコスクールとして1年次の4月～夏休みまでSDGs総合探究学習を実施している。班に分かれ、調べ学習をし、ポスターセッションで互いに学びあう経験をしており、SDGsの基本的知識は持っている。ただ、積極的にアクションを起こすところまでにはなかなかできておらず、今回、美術の授業が国際理解につながることに、デザインをすることがアクションを起こすことにつながるという意識を持たせたい。</p> <p>【教材観】</p> <p>生徒にとって生活に欠かせない、身近な「椅子」からデザインをすることから世界の課題について、それにどう向かうか、考えを深められる教材である。SDGsレポートから各国の直面している課題を見つけ、それを解決する「デザイン」を考える。社会の課題を解決するためのアイデアを練り、デザインを考え出すことで「デザインとは何か」「どのようにデザインを考えていくか」を考えさせたい。また、「座る」をテーマにすることで個人の椅子の</p>					

	<p>デザインとともに「場」を作る空間デザインのイメージを持たせられる。様々な名作椅子の鑑賞を通して、デザインがもたらす価値について考えさせることができる。</p> <p>【指導観】</p> <p>SDGs2023の各国のデータから問題点を読み取り、調べ学習を行った上で、デザインのアイデアを出していく工程を明確にすることで、デザインが形になる流れを理解させたい。デザインは人を思いやる気持ちから生まれる。世界に目を向けることで、自分が、相手に興味を持ち、知ることで世界にいくらかでも近づけること、デザインをすることによって自分が社会の課題を解決することに向かうアクションの一步だという意識を持たせたい。ひとつひとつの事柄を自分なりに深く考え、自分事としてとらえ、周りの人たちとの話し合いを通じてデザインを作り上げる喜びを感じさせたい。</p> <p>デザインに重点を置くためにスチレンボードを使って簡単な紙の模型を作ることにする。また、樹脂粘土と併用することで、多彩な形の表現や着色も可能にする。</p>
--	--

7. 単元計画 (全10時間)

時	ねらい	学習活動	資料など
1～2 導入	<p>「座る」歴史について世界史とともに確認する。 人間工学に基づくことで、デザインが生まれることを理解する。</p> <p>「使う責任」「作る責任」について考える。 企業の社会に対する問題意識を理解し、自分がデザインする椅子についての動機つけとする。</p>	<p>ビデオ視聴</p> <p>① 「椅子」の歴史とデザインについて 名作椅子と時代背景に関心を持ち、椅子の特徴や美しさについて理解する。人間工学に基づいた、椅子の目的を理解する。(権威、リラックス)</p> <p>② 株式会社「カリモク」の椅子作り 椅子の機能について理解する。 企業とSDGsの取り組みを理解する。 SDGs12 作る責任、使う責任について考える。 感想を書き、共有する。</p>	<p>光村図書「美術2」 P 42, 43</p> <p>① 「座る」の歴史 (動画)</p> <p>② 株式会社「カリモク」の椅子作りについて (動画)</p> <p>漫画「スパイファミリー」表紙提示 消費者庁 令和2年度消費者意識基本調査</p>
3～6 本時 (3)	<p>取り上げた国について、歴史、気候、文化などを調べ、解決したい課題を明確にする。 自分の作る椅子について、コンセプトを言語化する。</p>	<p>SDGs2023 レポートより、国を選び、外務省のHPを使って国調べをする。(各自のスマートフォンを利用)</p> <p>グループで発表し合う。 どんな椅子を作るのか、どんな人にとってもらうのか、どんな課題が解決できるのか考察する。</p>	<p>光村図書「美術2」 P 44, 45</p> <p>SDGs2023 レポート (Teams Class Notebookに提示)</p>
7～11 制作	<p>コンセプトに合った、材料を考える。スチレンボード、樹脂粘土を使って、イメージを形にする。</p>	<p>制作 模型を美しく表現するために必要な用具を正しく使用する。 昨日と形の関係を考え、コンセプトを活かしながら、独創的な表現を工夫する。</p>	
12 鑑賞	<p>他者の作品の良さを味わう。</p>	<p>付箋を使い、互いの作品を鑑賞しあう。</p>	

8. 本時の展開 (概略)

本時のねらい: 「SDGs2023 レポート」より選択した国について調べ、どんな課題を解決したいかを考え、自分の作る椅子のコンセプトを明確にする。

過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
<p>導入 (10 分)</p> <p>展開 (30 分)</p>	<p>「①選んだ国の現状、本来あるべき姿、その問題について、調査、分析したことを書きましょう。根拠となるサイトなどの出典も明確にしておきましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇国：体の調子が悪くて、遠路歩いて診療所にやってきた人が、疲れをいやせる椅子 ・〇〇国：バス停でバスを待つ、杖を突いた老人が一休みできる椅子 ・〇〇国：公園で遊ぶ子どもたちを見守る親がゆったり座れる椅子 ・〇〇国：保育所で、子どもたちが自分の居場所があると思えて安心できる椅子 ・〇〇国：暑い夏に公園を散歩する人たちが涼をとって休息できる椅子 ・〇〇国：足が悪くて正座することのできない人が楽に座れる椅子 などなど 	<p>文章が止まってしまう場合は、絵を描かせる。</p> <p>机間巡視 参考になる サイトを Teams Class Notebook に提示する。</p>	<p>コンセプトシート SDGSsCLUB(ユニセフ)</p> 
	<p>発問</p> <p>「②①を踏まえ、どんな椅子を作るのか、さまざまな条件を文章で考えてみよう。用途、使用者、形、素材、それによって解決できる課題を明確にしてください。」</p> <p>予想される回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疲れをいやす椅子 お母さん 大き目で硬めのもの、少しリラックスしたら次の活動を始められる ・勉強に集中できる椅子 自分、革、高級感のある椅子にして長時間すわりたいと思える <p>「一人で使う、以外の方法で人間関係をつくるきっかけとなりうる椅子ってあるかな」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園 ・学校 ・駅やバス停 <p>「そうだね。室内だけでなく、街中に置くことで人間関係を作るきっかけを作れるかもしれないね。学校や駅など公共の場を考えてもいいね。③グーグルマップを使って、今考えた椅子を置く場所を決めましょう。もう一</p>	 <p>日本語に翻訳しながら作業をすすめさせる。</p> <p>調べ学習は何を使ってもいいが、情報の引用元をメモしておくよう指示する。</p> <p>外務省 https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html</p>  <p>世界いろいろ雑学ランキング https://www.mofa.go.jp/mofaj/kids/ranking/isan.html</p>  <p>駅、美術館、</p>	<p>外務省 https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html</p> <p>世界いろいろ雑学ランキング https://www.mofa.go.jp/mofaj/kids/ranking/isan.html</p>

<p>度コンセプトシートを作り上げよう。」 コンセプトシートを班で共有する。 「Google マップを使って、実際に椅子を置く場所を決めよう」 発表（個人発表） 「自分が作ろうと思う椅子のコンセプトを「使う人」解決したい課題」を明確にして発表してください」 予想される発表内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オーストラリア 住宅過密率の問題、イタリアに続き2位→外でたくさんの人がゆったり座れ、リラックスできる椅子 ・イラン 女性のヒジャブの問題→ヒジャブ置き場のある女性専用の椅子 ・日本 ジェネレーションギャップを埋める→ホットシートのある対話のための椅子 ・イスラエル ガザの人と対話するための椅子 <p>まとめ 「デザインの基本は①問題解決として、困っている何かをなくすため②付加価値としてより良くするため」という目的を持っています。 「付加価値ってどういうことかわかりますか？」 返答 「見ていて、持っていて、座っていて「うれしい、たのしい」という感情や、愛着を物にもてること」</p> <p>自分のデザインした椅子はどんな課題を解決する糸口になるものなのか忘れずにデザイン画に取り組みましょう。」</p> <p>次回予告 1/10 でのデザイン制作について 「デザイン画には椅子だけでなく風景、人物を入れます。課題として配信したモデルの作成をしてきてください。」</p>		<p>商業施設の椅子を提示する。</p>  <p>駅</p>  <p>美術館</p>  <p>商業施設</p>  <p>対話型 AI は参考にならないことを伝える。</p>	<p>Google マップ https://www.google.co.jp/maps/place</p>  <p>対話型 AI 座る人の作成（宿題）</p> 
<p>9. 評価規準に基づく本時の評価（評価方法） 調べ学習を通して各国の課題について理解し、どんな課題を解決したいかを考え、自分の作る椅子のコンセプトが明確になっているか。（発表、コンセプトシート）</p>			
<p>10. 学習方法および外部との連携 日本インテリアコーディネーター協会、株式会社カリモクに依頼し、椅子の歴史と企業の取り組みを話してもらう。（動画）また市川工業高校から名作椅子の写真を借りる。</p>			

11. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取り組み

市川工業インテリアデザイン科の先生に指導案を見ていただく。また、市川工業の体験授業を見学し、参考とさせていただく。(10月28日) また、千葉県美術・工芸部会の研究協議会で「私のイチオシ授業」として紹介する。(11月8日)

【自己評価】

12. 苦労した点	<p>とにかく、生徒が問題意識をもって、当事者意識をもって課題にあたるために資料を提示する必要があった。短絡的にならないように、深く感がさせる時間の必要を感じた。</p> <p>見てほしい資料になかなか行き届かない苦労があった。紙ベースで配布もしたが、図書館などに協力を求めればよかった。</p>
13. 改善点	<p>本校生徒は総合探究の時間を使いSDGsの学習を行っているが、生徒が前提にある知識の差が作品にも大きく影響すると思うので、学習の時間も確保したい。</p> <p>奇想天外な発想を出させてもよかったかもしれない「椅子」の形にこだわらせたくなくて「座る形」としたはずだが、結果として「椅子」を作らせてしまった。</p>
14. 成果が出た点	<p>コンセプトが明確な作品が多くつくられる感じがするのと、積極的に取り組む生徒もあり、課題として面白いと思う。</p> <p>椅子のデザインを「場」を作るものとしてデザインした生徒が数名いて考え方に広がりがあった。</p>
15. 学びの軌跡 (児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)	<p>「物は作って終わりではなく、そのあと長く使われることで意味が出ると思った」</p> <p>「地産地消の考えでその土地にあった材料で椅子を作りたい」</p> <p>「この椅子で優しい気持ちになればあらゆる問題は解決していくと思う。人の気持ちを動かすデザインをつくりたい」</p> <p>コンセプトシート、アイデアスケッチは別紙参照</p>
16. 授業者による自由記述	<p>これから実際作る作業に入るが、つかう人をリアルに想定して(世界を自分事に考えて)作品を制作することに意義を感じた。さらにブラッシュアップしていきたい。</p>

参考資料：SDGs2023 レポート

外務省 <https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html>

世界いろいろ雑学ランキング <https://www.mofa.go.jp/mofaj/kids/ranking/index.html>

Google マップ <https://www.google.co.jp/maps/place>

読むだけで世界地図が頭に入る本 井田仁康

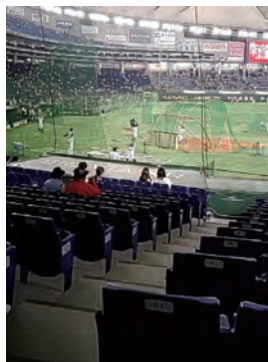
公共の場の椅子（飲食店）



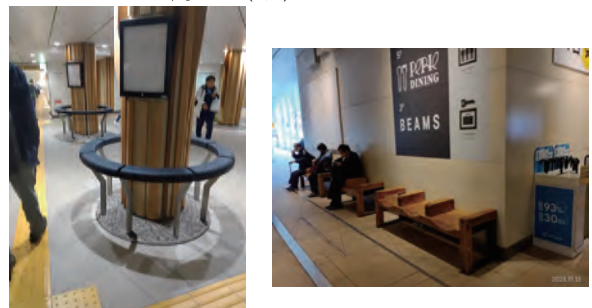
公共の場の椅子（美術館）



公共の場の椅子
（野球場）



公共の場の椅子（駅）



公共の場の椅子



機能としての椅子
（桜が丘特別支援学校）